

ひと まな
人はなぜ学ぶのか 6

べんきよう がくしゅう
～なぜ勉強・学習しないといけないのか～

しきつしやうがつこうはらまさし
敷津小学校 原 雅史



ひと まな
「人はなぜ学ぶのか」

しんがた かんけい りんじきゅうこう つづき いえ べんきよう こえ
新型コロナウイルスの関係で、臨時休校が続く、「お家では、勉強できない」という声も聞こえてきます。本当に、お家では学べないのでしょうか？

とつぜん もんだい き おちる み て ばんゆういんりよく
では、突然ですが、ここで問題です。「リンゴが木から落ちるところを見て、万有引力の法則を発見した」人は誰でしょう？

だれ しつ だいがくしや せんせい じつは
そう、誰もが知ってる、イギリスの大科学者アイザック・ニュートン先生です。実は、このニュートンが万有引力の法則を発見したのは、大学で研究しているときではなく、今と同じように、臨時休校で学校がお休みになっているときに、家の近所をぶらぶら散歩しながら「あ、リンゴが落ちた！」ところを偶然発見して、万有引力の法則を発見したと言われています。

こんかい きようりよく でんせんびよう せかいてきりゅうこう れきしじょうなんど
今回の新型コロナウイルスのような強力な伝染病の世界的流行は、歴史上何度もありました。特に「ペスト」と呼ばれる病気は、今までに3回も大流行が起こり、人口の8割もが死んでしまった国もありました。そのうちのひとつ、イギリスでも17世紀に大流行が起こり、今の日本と同じように、ニュートンの学校も臨時休校となりました。(ペストは今では良いお薬がありますので、心配いりません。ご安心ください)

べんきようぎらい せいせき ひじよう わるかつ じぶん
ニュートンは、もともと勉強嫌いで成績も非常に悪かったそうですが、あるとき自分の頭の悪さを友だちにからかわれ、非常に腹を立てたそうです。「くそっ！ぜったいに、あいつより賢くなってやる！」とあって猛勉強をはじめ、気がつくまで友だちに勝つどころか、村一番の天才となり、有名なケンブリッジ大学に通うほどになっていました。

だいいりゅうこう ともだち しん じゆぎよう おこなう
しかし、そこでペストが大流行し、友だちの80%が死んでしまうなど、授業を行うどころではなくなりました。しかたなく、故郷に帰って毎日本を読んだり、家の近所を散歩したりして過ごしていました。そんなときに、木になっているリンゴがボタリと地面に落ちる瞬間をみて、地球がリンゴを引っ張っている！という万有引力の法則を発見したそうです。他にも高校で習う「微分積分」とか、光の進み方プリズム実験などなど、家でのんびり過ごしているときに、自分の身の回りで起こるさまざまな現象をみながら、いくつもの大発見をしていきます。

いま わたし みのまわり べんり どうぐ
今の私たちの身の回りには、スマホやスイッチなど便利な道具がたくさんありますが、このニュートンの発見がなければ、実現はできないものばかりと言っても過言ではありません。ペストで多くの人が亡くなり気の毒なことではありますが、そのペストの流行で

がっこう おやすみ
学校がお休みとなったおかげで、ニュートンは偉大な発明を立て続けにおこなったと言えます。

もちろん、^{わたし}私たちはニュートンではないので、^{おなじ}同じような大発見ができるかどうかはわかりません。しかし、^{すくなくとも}少なくとも学校が休みだから^{がっこう やすみ}勉強はできませんとか、^{べんきょう}実は^{じつは}お家^{うち}でも^{まな}しっかり学べるんだということを、ニュートンは^{わたし}私たちに^{おし}教えてくれていると思います。

^{つづき}（^{じかい}続きはまた次回に^{はなし}お話します）